

KGPN 2019年度事業計画

KGPNの設立目的

1. 環境にやさしい商品・サービスを京都府内に普及しグリーン市場を拡大する。
2. 京都府内で環境にやさしい商品・サービスを提供している事業者の活動を促進する。
3. グリーン購入に取り組む消費者・事業者・行政の情報交換と活動促進の場とする。
4. 持続可能な消費と生産を拡大する。

◎KGPNの当面の(2020年に向けた)活動目標

- ①会員の環境活動の水準を高めるとともに②会員交流の場を設け③会員他団体間の連携を強める。
 →環境にやさしい商品販売・サービス提供をする会員の倍増を目指す。(2014年調査:17社)
 →環境にやさしい商品・サービスを購入する会員の倍増を目指す。(2014年調査:26社・団体)

★2019年度KGPNの活動方針

2016年1月に発効した「持続可能な開発目標 (SDGs)」の達成に向けて、わが国のSDGs実施指針に示した優先課題において「省エネ・再エネ、気候変動対策、循環型社会」では、持続可能な消費の推進や食品廃棄物の削減や活用、農業における環境保護等の取組、また「生物多様性、森林、海洋等の環境の保全」では、海洋ごみ対策としてプラスチック資源循環の促進などが挙げられ、「SDGsアクションプラン2019」取組を更に具体化・拡充されることとなっています。

KGPNはこのような中、「持続可能な生産消費形態を確保する」ことをはじめ「気候変動対策」、「海洋・海洋資源の保全」の視点から会員を中心に環境や社会を大切にする商品・サービスの提供・購入・消費を京都府内の消費者、事業者、行政機関にアピールし、以下の取組を展開します。

- ①会員の環境活動(環境にやさしい商品・サービスの提供)等社会的責任(SR)活動の広報
- ②地産地消商品の市場拡大の支援を柱とした活動拡大

このため、京都府内の企業・自治体間の連携による持続可能な消費と生産の実現に向けた普及活動等に会員等の参加や学生からの課題解決に向けた提案を求め、地域住民や事業者の理解協力の下、環境にやさしい商品・サービスの普及拡大、新たな持続可能な社会づくりに向けた購入活動の創出に取り組んでいきます。

① 会員が参加・発信できる活動の展開

会員交流
環境活動(事業者)のレベルアップ

1 セミナー・交流会・見学会等の開催

(1)セミナー・ワークショップ・見学会の開催

会員や地域社会にグリーン購入・調達の普及と持続可能な消費と生産の取組を拡大するため、会員や専門家を招いて、紙の使用削減と働き方改革にもつながるオフィス改善活動、CSR活動、エシカル購入、SDGs等に関するセミナー・ワークショップを開催するほか、近隣の団体、自治体、商工会などと連携して、環境活動を積極的に取組む事業所等の見学会を10月～11月頃開催し、新たなグリーン購入活動につながる先進的な情報提供の機会を設けます。

(2)活動・商品等紹介パンフレット等の作成、配布

会員等の活動や扱う商品・サービス、事例等を紹介するパンフレットの作成、配布やホームページによる持続可能な購入・調達等の取組の普及を図ります。

(3)会員交流サロン創設の検討

会員の取扱新商品・サービスの紹介をはじめ、会の法人化や新たな活動の発案など、自由に参加、意見交換する会員交流サロンのような場の創設を検討します。

2 地産地消活動の推進

会員が取り組むリサイクル・省エネ等の環境配慮型商品・サービス等の優先購入・調達は一定の定着が見られることから、日常の消費活動と直結している食品等に焦点を当て、京都府内の企業・団体の社員食堂や学生食堂、また飲食店や弁当などに、京都府産の食品・食材の利用や社内販売、社内の賄い品等として採用する新たなグリーン購入活動の展開に取り組みます。

また、これまでの活動の中でできたつながりを活かした地産地消の推進活動や循環型社会に寄与する取り組みに共催するなど連携して取り組んでいきます。

(1)生産者・消費者マッチング会・勉強会等の開催

7月頃と12月頃、京都府産の食品・食材の購入者と販売者とを相互につなげるマッチングの会を京都市内で開催し、周辺市町村や商工会等の広報・後援などの協力を得て、関心を持っている生産者及び消費者(企業、飲食店、食堂、弁当製造者)、市町村職員、学生等向けに地産地消の活動の説明と試食等を含めた取扱商品、取引単位、時期、納期などの情報提供、情報交換の場を設けます。

また、7月頃、マッチング会の参加者等を対象に今後の地産地消の促進や資源の地域循環に関連するテーマで事例紹介や意見交換を行い、取組促進策を研究する勉強会等を京都市内で開催します。

(2)京都府内産食材使用地産地消プロモーション活動の実施

6月～2月に地産地消循環部会等で協議を行いながら、京都府産の食品・食材を使った食事の社員食堂・学生食堂での提供や、京都府産の食品・食材を使った弁当販売、ケータリングサービス、食品販売・飲料提供などを行っている会員、会社、大学、団体、飲食店等の取組をホームページ、SNSなどを通じて情報提供を行う京都府産の食品・食材使用地産地消プロモーション活動を行います。広報・普及活動を通じて、京都府内産食材の消費者、使用者拡大を図ります。

3 展示会・フォーラム等イベントへの出展、講師派遣

(1)イベントへの出展、グリーン購入取組紹介・京都産商品などの展示や販売ブースの設置

グリーン購入法・政府調達方針等に掲げられた商品・サービスの購入・調達に関する認知度を高めるため、高速道路のパーキングエリア(10月頃)や京都府環境フェスティバル(12月頃)等自治体等が主催するイベント等に出展します。そこで会員企業・団体の環境活動・環境配慮商品・サービスや地産地消・地域循環の取組紹介をはじめ京都産商品を展示、販売し、広く消費者や事業者へ持続可能な消費と生産や商品選択におけるグリーン購入の仕組みを知ってもらうためのブースを設けます。

(2)講座等への講師派遣

団体や大学などが行うグリーン購入・調達に関するセミナー・勉強会・講座等へ会員等の協力により講師を適宜派遣し、取組事例の紹介等広く社会に向けて、会員の活動の情報発信の場を設けます。

② 自治体の取組支援と自治体との連携活動の推進

4 京都府内自治体のグリーン購入促進支援

(1)自治体取組支援

府内自治体の物品・サービスの購入額は大きく、府内の自治体を対象に他の自治体のグリーン調達の事例紹介、グリーン購入を積極的に取り組む事業所や自治体などの活動事例等の情報提供を行い、組織的なグリーン購入の推進に向けた実務的な支援(助言)を行います。

(2)研修会の開催

府内の自治体を対象に他の自治体の事例やグリーン購入を積極的に取り組む事業所などの具体的な活動事例紹介等、庁内での組織的なグリーン購入・調達の取組を推進するための研修会を12月～1月頃開催します。

③情報発信(広報コミュニケーション活動)

5 会報(KGPNニュース)の発行やウェブサイト等による発信

普及啓発活動(会員拡大)、広報

消費者や企業・団体に、グリーン購入をはじめとする持続可能な消費や購入・生産等の取組に対する理解と協力を得るため、年2回程度KGPNニュースを発行します。また、適宜会員や近隣の関係団体等の広報資料のメール配信、ホームページ、SNSを通じた会員の活動や商品・サービスの紹介、情報配信・発信を行います。あわせて、会員の活動の効果的な情報発信、コンテンツ等に関する勉強会の開催を検討します。

他企業・団体・会員間の連携・交流

④その他 連携・協働活動

6 会員・大学・他団体等主催事業活動などとの協働、協力

(1)会員企業・組織が主催する事業活動との協働

KGPNに加入しているメリットがなくなってきたため退会していく会員も増えており、本業のビジネスとも直結する活動を会員が企画、提案、主催する事業をKGPNが仲介役となり、他社・団体とも能動的、積極的に関わられる協働の場を創っていくことが重要です。そのため、会員の主催する事業等へ協働、協力を行っていきます。

(2)大学主催の産学協力事業や他企業・団体主催の事業への団体の会員の紹介やKGPNとの協働

会員に限らず大学や企業・団体が企画、提案、主催する事業を(1)と同様KGPNが仲介役となり、会員の紹介やKGPNとの協働、協力を行っていきます。

なお、いずれの事業も実施にあたっては、KGPNの実施体制、予算などを考慮、検討の上決定することとします。